



第11回常任理事会

- 日時** 平成18年9月12日（火）18：00～20：36
- 場所** 北海道医師会館9階・理事会室
- 出席者** 飯塚会長、長瀬・赤倉・加藤各副会長、三宅・榊山・浜上・山本・宮本・北野・渡辺・三戸・目黒・原田・藤井各常任理事、野中・澤田・高木各監事。
（事務局：河村事務局長ほか12名）

報告事項

1. 認知症サポート医養成研修会[8月19日（土）～20日（日）]について
（北野常任理事）
愛知県東浦町「あいち健康プラザ」で2日間に亘り行われた。国立長寿医療センター・大島総長の開会挨拶、続いて厚労省老健局計画課認知症対策推進室・佐々木専門官より「認知症サポート医養成研修事業の位置づけとサポート医への期待」という演題で講演が行われた後、研修に入った。初日は「基礎知識」編と「診断」編、また、間に、前日医常任理事・野中氏より「サポート医の役割とかかりつけ認知症対応力向上研修」について講演が行われ、2日目は「治療とケア」編と「連携」編という研修であった。最後に、今回の研修内容について、各地域において伝達講習の開催要請があり終了した。
2. 第50回社会保険指導者講習会[8月23日（水）～24日（木）・東京]について
（榊山常任理事）
標記講習会が、8月23日、24日の両日、「実

践 救急医療」をテーマに、日医と厚生労働省の主催のもと、日医会館大講堂で開催された。1日目は「救急医療・総論」「気道確保、AED」「救急のプライマリケア」(1) ショック、不整脈、(2) 意識障害、痙攣、(3) 呼吸困難、(4) 吐血・下血、急性腹症、以上の6題の講演が行われた。2日目は、「小児の救急」「高齢者の救急」の2講演と、「総合討論－実践 救急医療－」(1) 初期対応、(2) 転送のタイミング、(3) 救急の地域連携、が行われた。また厚労省からは、「医療制度改革と今後の方向」「診療報酬制度の最近の動向」について説明が行われた。最後に、竹嶋副会長が総括し、終了した（参加者は、1日目406名、2日目426名、合計832名）。

3. 第7回介護保険推進全国サミットinほんべつ[8月24日（木）～25日（金）・本別町]について（原田常任理事）

「地域住民と協働で進める認知症を支えるまちづくり」をメインテーマに、北海道の本別町で2日間に亘り開催された。出席者は1,100名。1日目は斎藤昌彦主任研究員（慶成会老年学研究所）の基調講演「認知症を学び地域で支えよう」の後、パネルディスカッションが行われた。2日目は午前は三分科会に分かれ、午後はミシガン大学政治学研究科教授ジョン・キャンベル氏による特別講演とパネルディスカッションが行われた。次回開催は、平成19年10月に新潟県妙高市の予定。

4. 第2回医業経営・福利厚生事業等検討委員会[8月26日（土）]について

（北野常任理事）

グループ保険制度見直しのための第2回目の委員会を開催。前回委員会において提起された課題に関する説明と今年の更新結果に関する説明を受け、引受会社と新規保険商品について協議した。次回は10月21日に開催することとし、4回をもって答申をまとめる予定。

5. 都道府県医師会健診・保健指導担当理事連絡協議会[8月31日（木）]について

（三戸常任理事）

標記協議会が8月31日に日医大講堂にて開催された。日医・唐澤会長の挨拶の後、厚生労働省大臣官房参事官・中島誠氏より「医療構造改革における生活習慣病対策の

推進について」と題し、医療制度改革法についての基本的な考え方として、(1) 安心・信頼の医療の確保と予防の重視、(2) 医療費適正化の総合的な推進、(3) 超高齢社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現、以上の3点について、同省健康局総務課生活習慣病対策室長・矢島鉄也氏より「標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）について」と題し、生活習慣病予防のための健診・保健指導のための基本的な考え方として、リスクの重複がある対象者に対し、医師・保健師・管理栄養士等が早期に介入し、行動変容につながる保健指導を行うアウトカム評価として、糖尿病等の有病者とその予備軍の25%減少を目標とすることなどが報告された。

また、日医・内田常任理事より、先に都道府県医師会を対象に実施した「健診・保健指導における医師会の関わり」の実態調査の結果について報告を受け、終了した。

6. 第4回指導医のための教育ワークショップ [9月2日（土）～3日（日）] について
（渡辺常任理事）

北大・前沢教授をチーフタスクフォースに、また、5名のタスクフォースにより、9月2日、3日の二日間、一泊二日で行った。参加者は20名であった。長瀬副会長の挨拶に続き、例年どおり「講義、グループ作業、発表討論」という形で17時間5分に亘り行われ、高い研修効果が確認された。最後に修了証を受講者を代表して最年長者へ授与し終了した。

7. 北海道禁煙推進フォーラム [9月3日（日）・帯広市] について（山本常任理事）

標記フォーラムを帯広健康まつりの一環として、帯広市医師会・帯広市との共催により開催した。帯広市医師会・吉田会長、帯広市・藤川助役の主催者挨拶、帯広市医師会・稲葉理事を講師として「健康とタバコ」と題しての基調講演、シンポジウムで4題の発表を行った後、会場より質疑を受けた。参加者は102名であった。

8. 表彰選考委員会 [9月4日（月）] について
（宮本常任理事）

「協議事項第1号」で併せて報告。

9. 療養病床再編に関する連絡会議 [9月5日（火）] について（原田常任理事）

道医、北海道病院協会、北海道の三者で、国が療養病床再編に伴う受け皿づくりなど、地域ケア体制整備推進のため行う「療養病床アンケート調査」について検討を行った。道から追加する調査項目の提案が行われ、患者票に「入院前住所地」の項目を追加することを決定。さらに、モデル圏域での具体的取り組みならびに今後のスケジュールについて道側の提案を了承した。また、北海道地域ケア整備・療養病床再編検討委員会の座長に長瀬副会長を推薦することが合意された。

10. 北海道小児救急地域医師研修事業協議会 [9月5日（火）] について（目黒常任理事）

昨年度に引き続き、北海道から受託した小児救急地域医師研修事業について、北海道小児科医会、北海道、当会の三者で協議を行い、10月から来年2月にかけて、道内8地域において研修会を実施することとなった。

11. 第22回全国医師会共同利用施設総会 [9月9日（土）～10日（日）・長崎市] について
（三宅常任理事）

「医師会共同利用施設の新たなる展開へ向けて」をメインテーマに開催された。唐澤日医会長の特別講演、医師会病院関係、検査・健診センター関係、介護保険関係の3分科会等が行われ、第2分科会では函館市健診検査センターの竹田運営委員会委員長がシンポジストとして発言した。次期は、平成20年に岐阜県医師会の担当で開催される。

12. 日医各委員会報告

(1) 医療関係者対策委員会 [8月23日（水）] について（三宅常任理事）

委員長に香川県医師会・森下立昭会長、副委員長に三重県医師会・青木重孝常任理事を選任。その後、会長諮問「看護職員の不足・偏在とその対策」について、フリートーキングが行われた。

(2) 定款・諸規程検討委員会 [8月24日（木）] について（長瀬副会長）

委員長に鹿児島県医師会会長・米盛學委員、副委員長に小職が会長より指名された。会長諮問は特になく、滋賀県医師会・和田耕馬代議員会議長名で日医に提出された定款改正の要望について、また公益

法人制度改革に伴う医師会のあり方についても検討していくこととし、フリートーキングを行った。なお当日、公益法人制度改革に関して厚労省担当官から説明を受ける予定であったが、公務都合により、今月13日の第2回委員会に延期となった。

(3) **医事法関係検討委員会[8月25日(金)]**
について(赤倉副会長)

委員長に福岡県医師会・横倉義武会長、副委員長に日本病院会・大井利夫副会長(日本診療録管理学会理事長)を選任。その後、会長諮問「医師・患者関係についての法的再検討」についてフリートーキングが行われた。

(4) **労災・自賠責委員会[8月30日(水)]**
について(目黒常任理事)

委員長に奈良県医師会・塩見俊次副会長、副委員長に佐賀県医師会・藤川謙二常任理事を選任。その後、会長諮問「医療保険制度下の労災保険、自賠責保険のあり方」についてフリートーキングが行われた。

(5) **環境保健委員会[9月1日(金)]**
について(浜上常任理事)

唐澤会長の挨拶に引き続き、委員長・副委員長の指名および諮問がなされた。委員長に櫻井治彦氏、副委員長に矢島暎夫氏が指名され、委員の構成は13名。担当役員は今村聡常任理事。諮問は、「地域における環境保健活動の展開」について、前年度の答申内容を踏まえて地域において具体的な方策を検討してほしいとのことであった。続いてフリートーキングを行い、さらに今後の委員会日程を決めた。

(6) **社会保険診療報酬検討委員会[9月6日(水)]**
について(榊山常任理事)

委員長に京都府医師会・安達秀樹副会長、副委員長に日本放射線科専門医会・難波俊司理事、東京都支払基金・井原裕宣副審査委員長の2名を選任。当該委員会に、小委員会を設置した。小委員会のメンバーは小職を含め7名と委員長、副委員長の計10名。その後、会長諮問「(1)診療報酬改定の影響とその対応～平成18年4月改定について～、(2)現在の診療報

酬における問題点について」のフリートーキングが行われた。

(7) **自浄作用活性化委員会[9月8日(金)]**
について(宮本常任理事)

委員長に岩手県医師会長・石川育成委員、副委員長に神奈川県医師会長・田中忠一委員が選出された。会長諮問は「自浄活性化推進に向けてのハンドブックの活用と地域医師会における自浄作用の活用化について」を今後検討して行くこととなり、当日はフリートーキングを行った。

13. **中央情勢報告(山本常任理事)**

厚労・文科・総務・財務各省合意の新医師確保総合対策、健康保険料率上限引上げ(2008年度)、高齢者医療制度定額制導入、在宅・居宅での医療・介護問題、道内公的病院再編構想、自治体の医療費助成見直しの動き等について解説した。

14. **外部各委員会報告**

(1) **北海道地域ケア整備・療養病床再編検討委員会(仮称)準備会[8月26日(土)]**
について(長瀬副会長)

療養病床再編と地域ケア整備指針の策定、療養病床調査、スケジュールについて、厚労省老健局・山崎総務課長ほか各担当者より説明が行われた。その中で同課長は最終的に医療療養病床を15万床とし、さらに介護療養病床を廃止することでかなりの費用削減効果があると財政的な面を強調して述べた。引き続き北海道の取り組みについて、道保健福祉部高齢者保健福祉課山本医療参事より説明があり、併せて活発な質疑が行われた。

(2) **北海道地方障害者施策推進協議会[8月29日(火)]**
について(長瀬副会長)

議事に入り会長に小職が選出された。本年4月に障害者自立支援法が施行されたことに伴い、軽度障害者が施設を出て地域で暮らせる社会づくりに向けて「道障害福祉計画(仮称)骨子(素案)の策定を検討していくこととなった。現在、障害福祉サービス見込み量の把握などを行っている。最終的には、19年3月を目途に策定し、国へ報告する予定である。

(3) **第8回北海道医療対策協議会[8月29日(火)]**
について(長瀬副会長)

臨床研修を終了した平成16年度の医師の動向等について報告の後、地域医療を担う医師養成検討分科会、自治体病院等広域化検討分科会から、現状と今後の検討課題について説明がなされ、奨学金制度の早期実施、広域化に対する道の主体性と三医大に連携を期待する意見が出た。医師派遣（紹介）連絡調整分科会からは平成18年度に向けた状況（調整終了：14医療機関、継続中：3医療機関）について報告がなされた。

(4) 第1回認知症対策検討委員会[8月31日(木)]について(北野常任理事)

道保健福祉部福祉局・熱田局長、厚労省老健局計画課認知症対策推進室・佐々木専門官の挨拶、続いて委員の紹介が行われ、委員長に道医療大学心理科学部・中野教授、副委員長に小職が選出された。検討事項は(1)「認知症に関する地域支援について」は事務局より基礎資料を得るため、各圏域の拠点である函館市、旭川市などで実態調査を行うことを決定。(2)「認知症の早期発見・早期対応について」は認知症サポート医を養成し、同サポート医によるかかりつけ医研修を行うことで、対応できる体制を整えていくこととなった。同研修の第1回目は函館を予定している。

15. 各部報告

(1) 第4回医療政策部担当理事会[8月21日(月)]について(山本常任理事)

第126回臨時時代議員会の「当面の医政問題に関する件」の理事者説明・提案等につき検討した。

(2) 第2回医業経営・福利厚生部担当理事会[8月28日(月)]について

(北野常任理事)

医業経営関係の顧問税理士であった留目正氏の逝去に伴い、後任者の人選を進め、面接を行い、中村孝一公認会計士・税理士(中村孝一公認会計士事務所)をお願いすることになった。また、11月18日開催予定の医業経営講習会の講師には日医総研の前田由美子氏に「診療報酬マイナス改定の影響について」(仮題)をテーマをお願いすることになった。

協議事項

第1号 平成18年度北海道医師会表彰に関する件(宮本常任理事)

〈決定〉

表彰規程にもとづく会員94名、役員・代議員5名、A会員の病院・診療所従業員126名、国公立等医療機関従業員71名、医師会職員10名、合計306名と特別表彰1名について表彰選考委員会での選考結果にもとづき被表彰者とする。

第2号 北海道地方薬事審議会委員の推薦に関する件(宮本常任理事)

〈決定〉

引き続き加藤副会長、宮本常任理事を推薦する。

第3号 医科歯科病診連携検討委員会委員の推薦に関する件(宮本常任理事)

〈決定〉

三戸常任理事を推薦する。

第4号 第4回全理事会の議案に関する件(宮本常任理事)

〈決定〉

9月23日(土)午後4時30分から帯広市で開催する標記会議の提出議題を決定。

第5号 北海道医師会創立59周年記念行事の開催に関する件(宮本常任理事)

〈決定〉

11月12日(日)午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡辺常任理事)

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座46件、道医認定生涯教育講座39件、合計85件を承認する。道総医協関連事項(赤倉副会長)

1. 地域医療専門委員会[9月1日(金)]について(加藤副会長)

第4回全理事会

日時 平成18年9月23日(土) 16:30～17:45

場所 ホテルノースランド帯広 2階・ノースランドホール

出席者 飯塚会長、長瀬・赤倉各副会長、柳内・三宅・浜上・山本・宮本・

三戸・目黒・原田各常任理事、上埜・尾谷・山・城・水元・竹内・増田・古屋・吉田・西池各理事、澤田監事、伊藤副議長、樋口日医裁定委員、河西日医代議員。

(事務局：河村局長ほか13名)

報告事項

1. 第2回都道府県医師会長協議会[9月19日(火)]について(赤倉副会長)

唐澤会長の挨拶の後、各県ならびに執行部提出の9項目について協議された。北海道からは、関連質問として「療養病床再編と医師の地域偏在」について質問した。

2. 日医各委員会報告

(1) 医各委員会の諮問事項について

(宮本常任理事)

当会役員等が参画する26の日医委員会の諮問事項等が出揃い、一覧表を提示し報告した。

(2) 定款・諸規程検討委員会[8月24日(木)・9月13日(水)]について(長瀬副会長)

第1回では、委員長に鹿児島県医師会長・米盛學委員、副委員長に小職が会長より指名され、検討事項として、役員選挙について、また公益法人制度改革に伴う医師会のあり方について検討することとし、フリートーキングを行った。第2回では、当初、第1回委員会で予定していた公益法人制度改革について厚労省担当官から説明を受け、意見交換を行った。

(3) 会員の倫理・資質向上委員会[8月28日(月)]について(上埜理事)

委員長には、会長指名で日赤医療センター名誉院長の森岡恭彦日医参与が就き、「医師の職業倫理指針の見直しについて」の諮問を受け、意見交換を行った。今後は作業部会を設置して各分科会で指針原案を作成する方針とした。

(4) 国民生活安全対策委員会[9月13日(水)]について(増田理事)

日医会長からの諮問事項にある健康食品等に関する情報システムの活用と、それに関連して国民生活安全への対策について検討を行った。

(5) 日医総研戦略会議[9月14日(木)]について(河西委員)

第3回では、戦略会議委員から順次、時

宜にあったテーマで話題提供を得てディスカッションをする形式とし、その第1回目として一橋大学国際・公共政策大学院の井伊雅子教授から「医療の基礎的実証分析と政策について」の説明を受けたのち、フリーディスカッションを行った。

(6) 有床診療所に関する検討委員会[9月15日(金)]について(西池理事)

大道委員長から委員会論議の論点として、(1)改正医療法の有床診療所部分の施行規則等のあり方について、(2)療養病床の転換について、(3)地域における有床診療所の今後の機能と役割について、(4)その他の課題、に区分して順次討議していくことが事前通知され、第2回委員会では、(1)と(2)についてディスカッションした。

(7) 医師会共同利用施設検討委員会[9月20日(水)]について(山理事)

各委員から、地域の医師会共同利用施設を巡る活動として、医師会病院部門、検査・健診事業部門、介護保険関連施設部門ごとの状況報告がなされた。

3. 中央情勢報告(山本常任理事)

厚労・文科・総務・財務4省合意の新医師確保総合対策、道内公的病院再編構想、在宅医療・居宅医療の流れ、高齢者医療制度疾病別定額制導入問題、自治体の医療費助成制度見直しの動き、無過失補償制度等について解説した。

4. その他(城理事)

福島県立大野病院の産婦人科事案に関し、声明文を発したことに付き報告。

承認事項

1. 外部各委員会等委員の推薦について

(宮本常任理事)

8月開催の第3回全理事会以降に推薦した3件につき報告、承認。

協議事項

第1号 平成18年度北海道医師会表彰に関する件(宮本常任理事)

〈決定〉

表彰規程にもとづく会員94名、役員・代議員5名、A会員の病院・診療所従業員126名、国公立等医療機関従業員71名、医師会職員10名、合計306名と特別表彰1名について表彰選考委員会の選考結果にもとづき被表彰者とす

る。

第2号 北海道医師会創立59周年記念行事の開催に関する件（宮本常任理事）

〈決定〉

11月12日（日）午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第3号 理事提案事項

増田理事から「道立教職員検診センターに係る定期健康診断業務の民間医療機関への移行に伴う血液検査について」、上埜理事から「第115回日医臨時代議員会への質問事項の追加について」それぞれ要望があった。

道総医協関連事項（赤倉副会長）

1. 第1回地域医療専門委員会[9月1日（金）]について（赤倉副会長）

第13回常任理事会

日時 平成18年9月26日（火）18：00～19：56

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 飯塚会長、長瀬・赤倉各副会長、柳内・三宅・榊山・山本・北野・渡辺・三戸・目黒・原田・藤井各常任理事、野中・澤田・高木各監事。
（事務局：河村事務局長ほか12名）

報告事項

1. 患者接遇に関する研修会[8月30日（水）・釧路市、他3件]について（北野常任理事）
8月30日から9月21日にかけて、釧路市・函館市・岩見沢市・小樽市において今年度の研修会を開催した。講師は設楽幸子氏で、医療を受ける側、行う側の両方の立場から、経験などを交えて講演され、好評であった。受講者は、4会場併せて、147施設1,149名に上った。
2. 第28回産業保健活動推進全国会議[9月14日（木）]について（目黒常任理事）
全国から、医師会・地域産業保健センター等の関係者を参集し開会された。午前部では、4ヵ所のセンターの活動状況の報告があり、午後部では、過重労働・メンタルヘルス対策に関するシンポジウムと各センターが抱える問題点について協議を行っ

た。

3. 第5回地域産業保健センター連絡協議会[9月16日（土）]について（北野常任理事）

長瀬副会長挨拶の後、議事に入り、(1)「第28回産業保健活動推進全国会議」について目黒常任理事が報告し、次に(2)「地域・職域連携推進事業」について北海道保健福祉部健康推進課・砂山主幹が生活習慣病対策取り組みの変更、平成17年度に設置された3圏域（後志、北網、十勝）の活動状況、平成18年度の実施予定について報告した。続いて(3)「地域産業保健センターの健康情報取扱い等」について、北海道労働局衛生課・高橋課長から「健康相談の記録は労働者名の個人に繋がる内容は記載しないことが出来るような取扱いにしたい」との提案がされた。その後、活発な意見交換が行われた。

4. 日医各委員会報告

- (1) 学校保健委員会[9月13日（水）]について（三戸常任理事）

委員長に東大大学院・衛藤隆教授、副委員長に大阪府医師会・井藤尚之理事と山形県医師会・佐藤泰司常任理事を指名した後、議事に入り、会長諮問「生涯保健と学校保健」についてフリートーキングを行った。

- (2) 男女共同参画委員会[9月13日（水）]について（藤井常任理事）

本年7月29日（土）大阪で開催された「第2回男女共同参画フォーラム」の反省と次回の開催地、基調講演、テーマなどの選定を行った。また、平成18・19年度の事業の一つとして、医学生が将来医師としてキャリアを継続していくために必要な情報を提供し、様々な面でサポートしていく事業を展開する。本年度は、北海道を含め9都道府県でこのモデル事業を行い、来年度は全都道府県に拡大する予定である。

- (3) 病院委員会[9月20日（水）]について（北野常任理事）

「療養病床の現況と再編への対応」について、各委員から現状報告と活発な意見交換を行うなど、主にこの討議に時間が費やされた。なお、今回は「地域医療における医師の確保と今後の医師需給のあり方」と「看護師の確保と今後の急性期

医療のあり方」について検討する。

(4) 広報委員会[9月21日(木)]について
(長瀬副会長)

ホームページのデザイン変更、日医に対する国民意識調査結果、イメージアップのためのTVCM放映、日医ニュースのプリズム欄の執筆分担等について協議した。

(5) 介護保険委員会[9月21日(木)]について
(原田常任理事)

「高齢化社会における、在宅医療を担う医師の役割と機能」をテーマとして18名の委員より各々プレゼンテーションが行われた。小職からは旭川市の地域包括支援センターの現状と、日医より同センターへの地域医師会への関与に関する研究の依頼を受けている旭川市医師会の今後の取組みなどについて報告を行った。

(6) 医事法関係検討委員会[9月22日(金)]について
(赤倉副会長)

医師の応召義務についてのフリートークと畔柳顧問弁護士から「患者の権利」概念の成長について説明が行われた。

5. 中央情勢報告(赤倉副会長)

自民党総裁選および関連政策、消費税と社会保障、国家財政の状況等について解説した。

6. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道医療審議会[9月26日(火)]について
(赤倉副会長)

医療法人の認可、医師配置標準特例許可を受けた病院の医師確保、地域支援病院の運営などの状況について報告を受けた。新たにへき地等病院の医師配置標準特例措置の申請があった4医療機関のうち、1医療機関を条件付きとして、すべて許可した。また、地域医療支援病院として札幌社会保険総合病院を承認した。

7. 各部報告

(1) 第2回医療関連事業部担当理事会[9月15日(金)]について
(三宅常任理事)

来る11月26日(日)に札幌全日空ホテルで、平成18年度の勤務医全体会議および病院研修会を開催する。なお、病院研修会は、「今回の診療報酬改定の病院経営に及ぼす影響」をテーマとし、全日本病院協会常任理事の猪口雄二先生に講演をい

ただくこととしている。また、勤務医懇談会を旭川市で開催することで日程調整を行う。

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件
(三戸常任理事)

〈決定〉

9月20日の審査委員会で指定「可」とされた再審3名の申請者を指定医師とすること、ならびに施設名称変更1件、設備変更1件の申請を承認する。

第2号 第126回北海道医師会臨時代議員会の処理事項に関する件
(長瀬副会長)

〈決定〉

9月17日開催の臨時代議員会で採択された決議文を日医会長、都府県医師会、郡市医師会ほか関係省庁、政党、国会議員、マスコミ等へ22日送付したことを報告承認。

第3号 医学生・医師による医療を考える合同懇談会の開催に関する件
(藤井常任理事)

〈決定〉

日本医師会男女共同参画委員会・女子医学生サポート事業として標記懇談会を札幌市において開催する。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件
(渡辺常任理事)

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座43件、道医認定生涯教育講座38件、合計81件を承認する。

第5号 その他

(1) 10月行事予定に関する件(事務局)

〈決定〉

提案どおり承認。

道総医協関連事項(赤倉副会長)

〈予定〉

9月28日(木) 地域保健専門委員会

18:00・かでの2.7